

2026 年 3 月 23 日

各位

ENEOS Xplora 株式会社

**胎内市立中条中学校にて環境教育ワークショップを開催**  
**～J-Startup イノカと連携し、次世代育成を支援～**

当社は、中条事業所 中条共創の森オープンイノベーションラボ（Nakajo Open-innovation Lab、以下「NOiL」、所在地：新潟県胎内市）において、2026 年 3 月 13 日（金）に、海洋環境分野のスタートアップである株式会社イノカ\*（所在地：東京都文京区、以下「イノカ」）とともに、胎内市立中条中学校\*の 1・2 年生全 8 クラスを対象に、「未来を担う中学生と考える、新潟の海とエネルギーの共生」と題したワークショップを実施しましたので、お知らせいたします。

本活動は、当社の社会貢献活動の一環として、エネルギーについて学んでいる胎内市の中学生に地球環境への取り組みを学んでもらうことを目的として実施しました。村上市および胎内市沖で計画されている洋上風力発電事業に関連し、海洋環境教育を推進するイノカを講師として招きました。当社はこれまでも、「新潟県教育の日」における社員による出前授業の実施や、にいがた脱炭素プロジェクト「中学生円卓会議」\*における中条中学校の発表へのサポートおよびオブザーバー参加などを通じて、地域の教育活動に継続的に関わってきました。このような取り組みの中で、地域の未来を担う中学生に、エネルギーと環境の共生について考える機会を提供するため、今回のワークショップを開催しました。

本ワークショップは、胎内市の発展に貢献してきた当社事業をはじめとしたエネルギー産業の歴史や、胎内市沖の海洋環境への理解を深めることを目的としています。さらに、クイズや実験を通して海藻の生態や洋上風力での海藻養殖の可能性が学べる内容となっており、海藻による CO<sub>2</sub> 吸収が期待される「ブルーカーボン」の可能性や地域で進めている洋上風力を活用した取り組み案なども提示しながら、中学生にもわかりやすく、主体的に考えられるような内容としました。

当社は、ENEOS グループの主要な事業会社として、ENEOS グループの行動基準「環境保全」のもと、環境教育を通じてエネルギーやカーボンニュートラルについて理解を深めるとともに、地域の未来を担う人材の育成に貢献するため、今後も子どもたちの学びを継続的に支援してまいります。

\*1 株式会社イノカ：生物多様性や藻場の保全など自然関連の新規事業創出に取り組むほか、環境分野の教育・研修プログラムを国内外に多数提供しており、これまでに延べ 2 万人以上が参加しています。J-Startup とは、経済産業省が推進するスタートアップ支援プログラムで、株式会社イノカはその第 5 次選定企業です。[株式会社イノカ 環境移送企業 -自然の価値を、人々に届ける-](#)

\*2 中条中学校：地域貢献活動「まちづくり会社 中条中学校社」を設立し、地域の方との共創を通じて、中学生が地域課題を解決する活動を進めています。気候変動の分野では、村上・胎内沖で計画されている洋上風力を通じて再生可能エネルギーについて学んでいます。

\*3 にいがた脱炭素プロジェクト「中学生円卓会議」：新潟日報社が新潟県と共催する「にいがた脱炭素プロジェクト」内で行われたイベント（<https://www2.niigata-nippo.co.jp/datsutan/pickup/10710/>）

### 【ワークショップ概要】

**タイトル：**「未来を担う中学生と考える、新潟の海とエネルギーの共生」

**プログラム内容：**

- |                     |   |
|---------------------|---|
| 1. ENEOS Xplora の紹介 | ：新潟県は天然ガスの自給率 100%超え！<br>胎内市において約 70 年間、石油・天然ガス開発事業を操業し、地域にエネルギーを届けている当社事業の紹介 |
| 2. 海藻マスタークイズ！       | ：全員参加型の海藻に関するクイズ  |
| 3. 海藻のヒミツを調査せよ！     | ：海藻をすりつぶして光合成色素を取り出す実験  |
| 4. 洋上風力で海藻養殖ができる？！  | ：洋上風力発電による海藻養殖の可能性についての説明   |

**対象：**胎内市立中条中学校 1・2 年生

**関連教科：**地域貢献活動、総合的な学習の時間

### 【生徒の皆さんから届いた声の一部】

- 「海藻のワカメなどは、CO<sub>2</sub>を減少させる働きがあることが分かりました」
- 「洋上風力発電による海藻養殖の可能性について、海藻が減少している現状を初めて知りました。エネルギーとの両立が可能かもしれないと知るとすごいことだなと感じました」
- 「ワークショップを通して胎内市が行っている脱炭素への取り組みを詳しく学んでみたいと思いました」



環境教育ワークショップの様子